

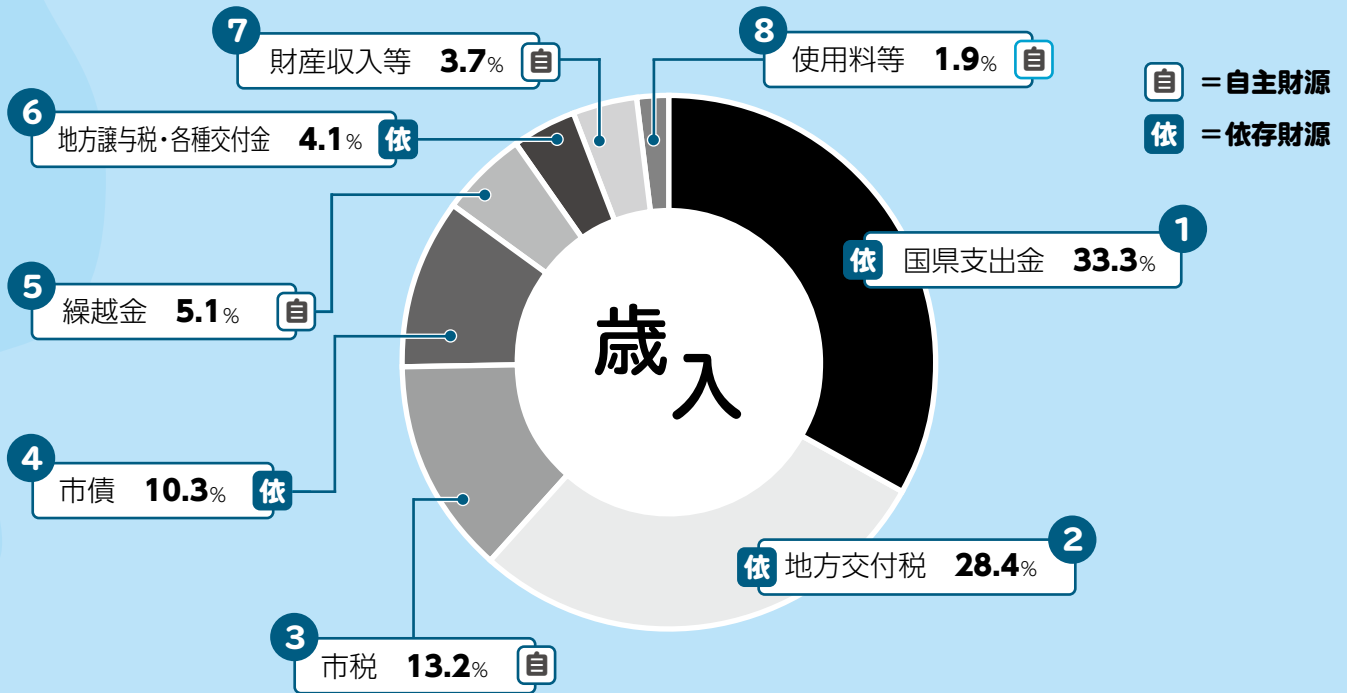


和3年第3回市議会定例会（9月）で、令和2年度一般会計及び特別会計・企業会計の決算が承認されました。

皆さまから納めていただいたお金や国・県から交付されたお金がどのように使われたのかをお知らせします。

令和2年度の一般会計決算額は、歳入が前年度より10億6,648万円増の220億953万円、歳出が前年度より8億5,719万円増の206億7,241万円となりました。歳入から歳出を差し引いた額は13億3,712万円。特別定額給付金事業（新型コロナウイルス対策）もあり、総務費が大幅に増加しました。

## 一般会計 歳入総額 220億 953万円(対前年比 +5.1%)



依	①国県支出金	73億 2,060万円	(33.3%)	特定の事業を行うために国県から交付されるお金
依	②地方交付税	62億 5,658万円	(28.4%)	どの地域に住む住民にも一定水準の行政サービスを提供できるように国から交付されるお金
自	③市税	28億 9,446万円	(13.2%)	市民の皆さまから納めていただいた税金
依	④市債	22億 7,580万円	(10.3%)	特定の事業を行うために市が借り入れたお金
自	⑤繰越金	11億 2,783万円	(5.1%)	前年から繰り越したお金
依	⑥地方譲与税・各種交付金	9億 118万円	(4.1%)	国税や県税として徴収したものを、国や県が一定の基準により、市に対して譲与・交付するお金
自	⑦財産収入等	8億 1,674万円	(3.7%)	財産収入のほか、寄附金、繰入金、諸収入
自	⑧使用料等	4億 1,634万円	(1.9%)	使用料のほか手数料、分担金および負担金

### 自主財源と依存財源の割合

自主財源 市が独自に調達したお金 52億 5,537万円

23.9%

76.1%

国や県などから市に入ってくるお金 167億 5,416万円

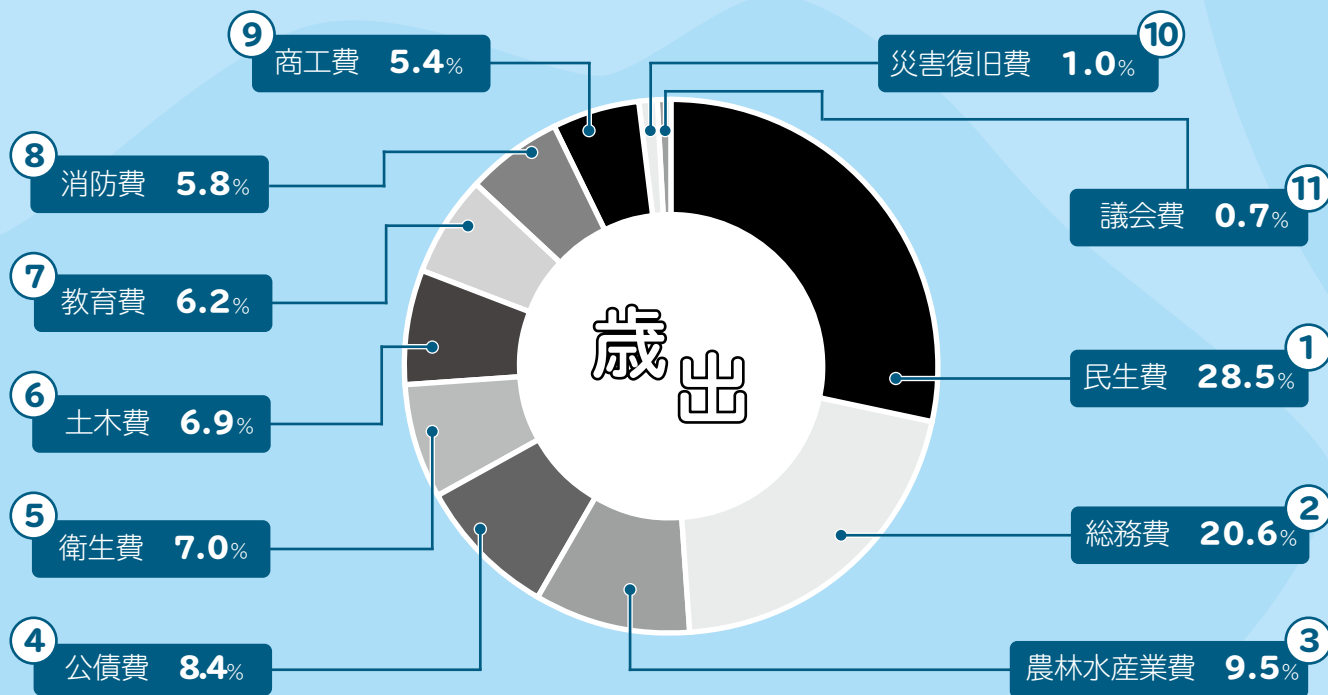
依存財源

# 令和2年度 決算

## Settlement

閩財政課 財政係 ☎ 22-3204

一般会計 歳出総額 **206億 7,241万円** (対前年比 +4.3%)



① 民生費	58億 8,925万円	(28.5%)	子育て、高齢者、生活保護などの福祉のために使われるお金
② 総務費	42億 5,148万円	(20.6%)	庁舎等の財産管理や交通、統計、選挙、徴税などに使われるお金
③ 農林水産業費	19億 7,249万円	(9.5%)	農林畜産業の振興のために使われるお金
④ 公債費	17億 4,351万円	(8.4%)	市の借金を返済するために使われるお金
⑤ 衛生費	14億 4,253万円	(7.0%)	ごみ処理や環境整備、健康づくりなどに使われるお金
⑥ 土木費	14億 3,655万円	(6.9%)	道路や橋、河川、公営住宅などの整備に使われるお金
⑦ 教育費	12億 8,123万円	(6.2%)	教育や文化・スポーツ振興のために使われるお金
⑧ 消防費	11億 9,675万円	(5.8%)	消防活動や防災対策のために使われるお金
⑨ 商工費	11億 1,328万円	(5.4%)	商工、観光の振興のために使われるお金
⑩ 災害復旧費	2億 711万円	(1.0%)	災害復旧のために使われるお金
⑪ 議会費	1億 3,823万円	(0.7%)	議会運営のためのお金

歳入歳出差引額 **13億 3,712万円**

一般会計

# 令和2年度に実施した主な事業

## 民生費

- 子育て支援センター移転改修事業
- 児童福祉事業
- 障害者福祉事業
- 高齢者福祉事業



令和3年4月にオープンした子育て支援センター

## 総務費

- 特別定額給付金事業(新型コロナウイルス対策)
- 地方バス運行等特別対策事業
- 光ネットワーク事業

## 商工費

- 地域振興緊急対策事業(新型コロナウイルス対策)
- 事業継続支援補助事業(新型コロナウイルス対策)
- 夢の湯施設改修事業
- 阿蘇神社周辺整備事業
- 宿泊客誘致緊急対策事業(新型コロナウイルス対策)
- ふるさと納税事業

## 農林水産業費

- 農・林道整備事業
- 地籍調査事業
- 多面的機能支払交付金事業
- 中山間地域等直接支払事業



令和2年8月にオープンした夢の湯

## 衛生費

- 予防接種・各種健診事業
- ごみ収集事業
- 阿蘇保健福祉センター大規模改修事業(1期)

## 災害復旧費

- 河川・農地等災害復旧事業
- 被災宅地復旧支援事業(熊本地震関連事業)
- 国指定文化財災害復旧事業

## 土木費

- 市営住宅建設事業(赤水西団地)
- 橋梁改修事業
- 河川等改修事業
- 道路維持・新設改良事業



児童1人に1台ずつ整備されたタブレット端末

## 教育費

- 情報機器端末整備事業(タブレット等)
- 学校情報通信ネットワーク構築事業
- 生涯学習事業
- 文化振興事業
- 体育振興事業
- 世界文化遺産推進事業

## 消防費

- 防災行政無線デジタル化整備事業
- 小型動力ポンプ、消防積載車、防火水槽整備事業



令和2年度には4台の消防積載車を入れ替え



# 特別会計と企業会計

**特別会計** 市が特定の事業を行う時に経理を明確にするために一般会計と区別した会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
阿蘇山観光事業	6,828万円	6,828万円	0万円
下水道事業	8億 257万円	7億 5,499万円	4,758万円
国民健康保険事業	36億 8,166万円	35億 9,819万円	8,347万円
介護保険事業	36億 1,051万円	33億 6,277万円	2億 4,774万円
後期高齢者医療事業	4億 6,736万円	4億 5,691万円	1,045万円
坂梨財産区	2,015万円	1,014万円	1,001万円
古城財産区	822万円	420万円	402万円
中通財産区	2,597万円	1,357万円	1,240万円
宮地財産区	4万円	2万円	2万円

**企業会計** 市が経営する企業の会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
水道事業	収益的収入額(税抜) 4億 6,244万円	収益的支出額(税抜) 4億 2,339万円	収益的収支(税抜) 3,905万円
	資本的収入額(税込) 2億 1,387万円	資本的支出額(税込) 4億 148万円	資本的収支(税込) ▲1億 8,761万円
病院事業	収益的収入額(税抜) 29億 4,533万円	収益的支出額(税抜) 24億 8,646万円	収益的収支(税抜) 4億 5,887万円
	資本的収入額(税込) 2億 9,089万円	資本的支出額(税込) 4億 4,250万円	資本的収支(税込) ▲1億 5,161万円

## 監査委員の審査意見

審査に付された「健全化判断比率及び資金不足比率」に関し、その算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されており、是正改善を要する事項についても特に指摘すべきものはないと判断しました。

### 健全化判断比率とは

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を4つの指標で判断するものです。

### 資金不足比率とは

公立病院や下水道などの公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

### ●健全化判断比率

指標名	阿蘇市	黄信号	赤信号
		早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-	13.38%以上	20.0%以上
②連結実質赤字比率	-	18.38%以上	30.0%以上
③実質公債費比率	<b>7.8%</b>	25.0%以上	35.0%以上
④将来負担比率	<b>41.1%</b>	350.0%以上	-

※①、②は赤字額がないため「-」で表示しています。

※健全化判断比率、資金不足比率は健全化法に基づく数式により算出しています。

### ●資金不足比率

会計名	阿蘇市	黄信号
		経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0%以上
病院事業会計	-	
下水道事業特別会計	-	

※資金不足が生じていない会計は「-」で表示しています。